

- 1 日 時 : 平成29年11月10日(金) 第5校時
2 場 所 : 2階 調理室
3 学年・学級 :
4 題材名 : 「衣服の手入れをしよう」

(1) 題材観

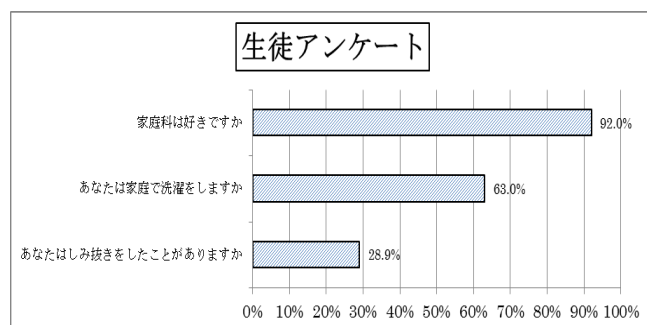
本単元は、中学校指導要領技術・家庭(平成20年)家庭分野の内容C衣生活・住生活の自立の(1)「ウ衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができること。」にあたる。ここでは、衣服を快適に着用するために、洗濯や補修などの手入れが必要であることを理解し、衣服の材料や汚れ方に応じた適切な補修ができるようにする。

近年においては、インターネットの普及により、衣服の流行などの情報を仕入れやすい状況にあると考える。しかも、衣服などを安価で入手できるファストファッションの浸透やインターネットショッピングなどにより以前よりも自らの意思で衣服などを容易に入手しやすく、入手から処分のサイクルも短い期間の傾向であると推測できる。よって、本単元を通して衣服の手入れの方法についての正しい知識を理解させ、実生活においても活用できる力を養いたい。

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

本学級の生徒は、ものづくりやおしゃれに興味があり、実習にも意欲的に取り組み、また、家庭科の授業を楽しみにしている生徒が多い。

右のグラフは本学級におけるアンケート結果である。これより読み取れる結果は次の2点である。1点目は、92%の生徒が家庭科を肯定的に捉え、また家庭においての家事手伝いも積極的に行う意欲的な生徒で占められていることである。小学校の頃にはエプロンやナップザック作りを経験し、体操服やハチマキを洗ったことがあると答えた生徒も数名見られた。2点目は、洗濯の項目に関しては、洗濯の経験は63%の生徒にあるものの、しみ抜きをしたことがある生徒がわずか28.9%にとどまったことである。このことから、しみ抜きについての知識や経験が不足していることがわかる。



(3) 指導観(指導改善のポイント)

衣服を快適に着用するためには、衣服材料の特徴を理解させるとともに、衣服の状態に応じた手入れの違いを理解させることが重要であると考えられる。繊維に関しては、実物を提示し興味・関心を引き立てる。また、基礎的な技術の習得には、実生活に結び付けられるよう生徒にとって一番身近な衣服として制服や体操服、給食着などを用いる。そして、それらに関わる手入れを、アイロンがけやブラシがけのようにスモールステップにより達成感を感じられるようにする。技能の習得の際には、実物・拡大見本やビデオなどを活用する。実習の場面では、個の作業よりも、集団での作業に焦点を置き、これまでの生活体験の中で得ている知識を確認し合い、わからないことは互いに教え合える授業づくりをする。これらの教材を繰り返し行うことで、基礎的な技能の定着を確立させていく。

衣生活の自立を目指していくためには、しみ抜きそのものの必要性を理解させるとともに、衣服が汚れたからといってすぐに処分するのではなく、衣服が汚れた際にはしみ抜きをして、衣服を長い間着用し、快適な衣生活が送っていけるように、しみ抜きの技術を習得させる。

(4) 本題材において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。

【知識】【スキル】	①課題解決能力	②表現力		
【意欲・態度】	③主体性	④協調性	【価値観・倫理観】	⑤公共心

この中から、本題材において育成しようとする資質・能力は次の1点に重点を置くものとする。

【知識】【スキル】 ①課題解決能力

・汚れに応じた適切な洗剤や洗い方を見い出し、しみ抜きをすることができる。

5 題材の目標と評価規準

題材の目標

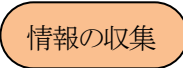

- 衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。
- 衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる。
- 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。

題材の評価規準

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を 工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
衣服の着用、選択、手入れについて関心をもって学習活動に取り組み、衣生活をよりよくしていこうとしている。	衣服の活用、選択、手入れについて課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	衣服の着用、選択、手入れについて理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

6 指導と評価の計画

全4時間 (本時は2/4)

時	学習内容	評価						
		関	創	技	知	評価規準	評価方法	資質・能力 (評価方法)
1	衣服の手入れをしよう 繊維の性質を理解する。 				◎	・衣服の着用、選択、手入れについて理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	行動観察 ワークシート	
2	衣服の手入れをしよう しみ抜きをしよう。 	◎				・衣服の着用、選択、手入れについて関心をもって学習活動に取り組み、衣生活をよりよくしていこうとしている。 ・衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	行動観察 ワークシート	課題解決能力 (行動観察)

3	衣服の手入れをしよう 取扱い絵表示を確認しよう 情報の収集		◎		・衣服の活用，選択，手入れについて課題を見付け，その解決を目指して工夫している。	行動観察 ワークシート	
4	衣服の手入れをしよう アイロンがけ・ブラシがけをしよう 実行		◎		・衣服の着用，選択，手入れに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	行動観察 ワークシート	

7 本時の展開

(1) 本時の目標

それぞれの汚れに応じたしみ抜きをすることができる。

(2) 観点別評価規準

【 関心・意欲 】衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心をもち，洗濯や補修の課題に取り組もうとしている。

【 生活の技能 】衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の洗濯ができる。

評価方法：行動観察，ワークシート

(3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
①課題解決能力	A 汚れに応じた適切な洗剤や洗い方を見い出し，しみ抜きをすることができる。 B 汚れに応じた洗剤や洗い方で，しみ抜きをすることができる。 C 汚れに応じた洗剤や洗い方で，しみ抜きをすることができない。

(4) 準備物

繊維実物（綿花，毛） Ipad 大型テレビ 洗剤（洗顔料・洗濯用固形石鹼・洗濯用液体洗剤・洗濯用粉末洗剤・マジックリン・台所用洗剤） たらい 実習布 ふきん ワークシート

(5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（・） (努力を要する生徒への指導の位で)	評価規準 ○教科の事項 ☆資質・能力 (評価方法)
導入	○前時の内容を振り返る。 ○課題を把握する。 課題の設定	・衣服にしみや汚れがついて困ったことはないか想起させる。 ・実際に汚れた服を見せて実生活との結びつきを図る。 ・中学生によくあるしみの汚れを示し，課題の解決に意欲を持たせる。	

	<p>中学生によくあるしみの汚れ</p> <p>①習字の時についた墨</p> <p>②給食の時についたケチャップ</p> <p>③どろ汚れ</p> <p>○しみ抜きをの必要性を理解する。 情報の収集</p> <p>○本時の目標を把握する。</p>	<p>・しみ抜きの必要性を伝える。</p> <p>・しみ抜きの方法を提示する。</p>			
<p>それぞれの汚れに応じたしみ抜きをすることができる。</p>					
<p>展 開</p>	<p>○どの洗剤で汚れが落ちそうか班で予測し洗剤を選ぶ。 整理・分析</p>	<p>・使う洗剤の量に注意する。</p> <p>◆机間巡視、個別指導する。</p>	<p>○衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れに関心を持ち、洗濯や補修の課題に取り組もうとしている。 (行動観察)</p>		
<p>【主体的に学んでいる姿】</p> <p>・班で選んだ洗剤で、一生懸命汚れを落とそうとしている姿。</p>					
	<p>○どの洗剤で汚れがよく落ちたか確認する。(10分) 情報の収集 表現</p> <p>○汚れがよく落ちた洗剤で再度しみ抜きをする。(10分) 整理・分析</p>	<p>・全部の班の布を大型テレビに映し、どの洗剤が汚れをよく落とすのか考えさせる。</p> <p>・汚れがよく落ちた洗剤が複数あった場合は、どの洗剤がより汚れを落とすことができるのか実践の上、解明させる。</p> <p>・汚れがよく落ちた洗剤を併用することによってさらに汚れ落ちがよくなることに気付かせる。</p>	<p>☆課題解決能力</p> <p>○衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の洗濯ができる。 (行動観察)</p>		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding-right: 10px;"> <p>《適する洗剤、予測する状態》</p> <p>①墨→固形石鹼+洗顔料・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>②ケチャップ→台所用洗剤(しみが残る)・・・・・・・・</p> <p>③どろ汚れ→粉末石鹼・洗顔料(きれいに落ちる)・・</p> </td> <td style="width: 50%; padding-left: 10px;"> <p>《当日、実際に落ちた洗剤》</p> </td> </tr> </table>				<p>《適する洗剤、予測する状態》</p> <p>①墨→固形石鹼+洗顔料・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>②ケチャップ→台所用洗剤(しみが残る)・・・・・・・・</p> <p>③どろ汚れ→粉末石鹼・洗顔料(きれいに落ちる)・・</p>	<p>《当日、実際に落ちた洗剤》</p>
<p>《適する洗剤、予測する状態》</p> <p>①墨→固形石鹼+洗顔料・・・・・・・・・・・・・・・・</p> <p>②ケチャップ→台所用洗剤(しみが残る)・・・・・・・・</p> <p>③どろ汚れ→粉末石鹼・洗顔料(きれいに落ちる)・・</p>	<p>《当日、実際に落ちた洗剤》</p>				

	○片づけをする		
ま と め	○本時のまとめをする (5分) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> 振り返り まとめ・創造・表現 </div> ○次時の学習の見通しの確認	・汚れにあった洗剤や洗い方をすることで汚れを落とすことができる。	・ワークシート

(6) 板書計画

目標 それぞれの汚れに応じたしみ抜きができる。

汚れが落ちる前 しみ抜きの方法の絵

布
墨

布
ケチャップ

布
どろ

➡

洗顔料・洗濯用固形石鹼・洗濯用液体洗剤
洗濯用粉末洗剤・マジックリン・台所用洗剤
どれで汚れが一番落ちるだろう？